

レジ袋無料配布中止 (有料化)

ユニーは、2007年6月に、横浜市のピアゴ中山店 (旧ユニー中山店) で初めて有料化を開始しましたが、単独での実施だったため、自治体や消費者・同業者との連携が取れず、またお客様からのご理解がいただけず来店客が減少、売り上げも一時低迷するといった厳しいスタートでした。

店舗での啓発活動の結果、売り上げは持ち直せましたが反省することがたくさんありました。これ以降、ユニーは自治体や市民との合意のうえ、周辺の近隣の同業社とも連携し、地域全体で取り組みました。その後は大きな問題もなく地域を拡大、2014年2月20日には全店舗レジ袋無料配布中止 (有料化) を実現しました。

- 1 自治体が、レジ袋削減は「廃棄物削減および地球温暖化防止」のためであることを広く市民に知らせ、主体的に取り組むこと。
- 2 地域の市民団体が支援して下さること。
- 3 地域の小売り事業者などが皆で参加すること。



自治体・市民団体・事業者の三者がそれぞれの役割を果たすために、協議会を設立し十分に話し合い、協定書を締結するよう努める。

地球環境活動に寄付

有料レジ袋を購入していただくと、ユニーは1枚につき1円を、地域の自治体の環境活動に寄付します。

■2013年度実績
102市町 185店舗 2,563万2,688円

全店舗でレジ袋有料化

2014年2月20日より、ユニー全店舗の食品売場でレジ袋無料配布中止を実施しました。2007年6月に横浜市のピアゴ中山店 (旧ユニー) を最初に、次々に各地域の自治体や市民の皆様、同業他社と協働でレジ袋の有料化を進めてきましたが、ようやく全店舗で実施することができました。また、この活動はお客様のご理解あつてのことなので、各店舗ではお客様への啓発活動を自治体と一緒に開催しました。

2014年2月20日よりレジ袋を有料化した店舗

	店舗数
新潟県	3
栃木県	2
群馬県	6
埼玉県	6
神奈川県	7
千葉県	3
静岡県	3
京都府	1
奈良県	2
合計	33



横浜市 アピタ長津田店



埼玉県 アピタ吹上店



栃木県 アピタ足利店



群馬県 アピタ高崎店

減装ショッピング

使用済み容器包装が家庭ゴミの50% (容積) といわれ、使用削減と容器包装の軽量化などによる排出抑制が廃棄物削減の大きな課題です。ただし、容器包装には商品の鮮度や品質を保全し、消費者が安全・安心に商品を持ち帰る機能が必要です。こうした容器包装の機能を持ち環境負荷を低減した環境配慮設計された容器包装をメーカーに提案、そうした商品を品揃えして消費者に購入していただくことは小売業の役割だと言えます。

そこで、中身に対して容器包装の割合 (重量) の少ない商品やPOPにマークを付けて消費者に紹介したうえで購入を促す「減装ショッピング」を提唱しています。これを推進する神戸大学とNPOに協力し、使用済み容器包装の発生抑制に効果の実証試験を支援しています。2013年は名古屋にある椙山女学園大学の学生も協働で実施しました。

マークの付いた商品の販売増加はまだ数字に表れてはいませんが、消費者には関心を持っていただけました。



減装ショッピングをお客様にアピール



売場に掲示



子ども達に紙芝居で説明



飲み終わったペットボトルでエコ工作